

第45回原産年次大会 セッション内容

基調テーマ： 再生への道筋を問う —— Think Globally, Act Locally

原産協会会長所信表明 4月18日(水) 9:00~9:20

今井 敬 一般社団法人 日本原子力産業協会 会長

特別講演 4月18日(水) 9:20~12:10

細野 豪志 原発事故の収束及び再発防止担当、内閣府特命担当大臣（原子力行政）
環境大臣

ビクトル バローハ ウクライナ非常事態大臣
「チェルノブイリ事故を乗り越えて：経験と重要な教訓」

ヤドヴィガ マリア ロドヴィッチ チェホフスカ 駐日ポーランド共和国大使

ピョートル シェドロビツキー ロスアトム 総裁顧問
「福島事故を越えて」

カート トン 駐日米国大使館 首席公使

天野 之弥 国際原子力機関（IAEA）事務局長（ビデオ・メッセージ）

福島第一原子力発電所の現状と今後 4月18日(水) 12:10~12:40

相澤 善吾 東京電力株式会社 取締役副社長 原子力・立地本部長

セッション1 4月18日(水) 13:50~17:50

これからのエネルギー・原子力政策、そして日本がとるべき道は

このセッションでは、エネルギーや原子力をめぐる動向について、各界の専門家からご講演いただき、日本のエネルギー政策において原子力が果たせる役割を探る。

◆**議長**： 田中 伸男 一般財団法人 日本エネルギー経済研究所 特別顧問
元 国際エネルギー機関(IEA) 事務局長

◆**講演**：

バーバラ ジャッジ 英原子力公社(UKAEA) 名誉会長
「ポスト福島の原子力」

坂根 正弘 一般社団法人 日本経済団体連合会 副会長、株式会社 小松製作所 会長
「産業界から見た今後のエネルギー政策のあり方」

ウィリアム マグウッド 米国原子力規制委員会(NRC) 委員
「将来を見据えて：福島事故以後の次のステップ」

チュン クンモ 元 韓国科学技術庁長官
「核セキュリティ、保障措置及び原子力安全におけるグローバルガバナンス」

シュテファン ニーセン アレバドイツ社 研究&イノベーション事業本部長
「ドイツにおける新エネルギー政策：その成果と課題」

竹内 敬二 朝日新聞 編集委員
「消費者の意思を原子力政策に —— 技術のプロで事故検証を」

澤 昭裕 NPO法人 国際環境経済研究所 所長
「いま、何を議論すべきなのか？ —— エネルギー政策と温暖化政策の再検討」

セッション2

4月19日(木) 9:00~12:30

福島事故をふまえて —— 安全性向上への取り組み

このセッションでは、今回の事故を反省しつつ、今後も原子力発電利用を継続していくためには日本の原子力界はどう変わるべきか、各国関係者の取り組みも参考として考える。

◆**議長**： 松浦 祥次郎 公益財団法人 原子力安全研究協会 評議員会長

◆**講演**：

八木 誠 電気事業連合会 会長

「安全性向上に向けた電気事業者の取り組みについて」

ローレン ストリッカー 世界原子力発電事業者協会(WANO) 議長

「福島事故後の世界の安全性向上にむけたWANOの取り組み」

スコット ピーターソン 米原子力エネルギー協会(NEI) 副理事長

「積極的なコミュニケーションが原子力安全への信頼を築く」

リュック ウルセル アレバ社 社長兼CEO

「感情から理性へ —— 信頼への道のり」

マイク ウェイトマン 英国原子力規制局 長官 兼 原子力施設主任検査官

「原子力安全改善への取り組みに関する英国規制当局の展望」

セッション3 4月19日(木) 14:00～17:30

福島への復旧・復興にむけて —— 被災地の今と課題

このセッションでは、今回の事故が被災地の方々にもたらしたものを真摯に受け止め、放射線の問題と福島県の復旧・復興について、海外の事例も参考に考える。

◆**議長**： 増田 寛也 東京大学 公共政策大学院 客員教授、元総務大臣、前岩手県知事

◆**基調講演**：

セルゲイ ラフマノフ 駐日ベラルーシ大使
「原子力事故の影響緩和におけるベラルーシの経験」

ミシェル ガーバー 米URS社 戦略的原子力構想 上級アドバイザー
「ステークホルダー・アウトリーチおよび地域参加の重要性とその効果：
ハンフォードの経験から」

◆**パネル討論**：

遠藤 勝也 富岡町長

箱崎 亮三 NPO法人 実践まちづくり 理事長、一般社団法人 南相馬除染研究所 理事

柴田 徳思 東京大学 名誉教授、(株)千代田テクノル 大洗研究所 研究主幹

吉田 泉 復興大臣政務官

WNA放射線ビデオ：「福島とチェルノブイリー虚構と真実」（日本語字幕付）

4月18日(水)および19日(木)の昼食休憩時間中、会場内において原子力事故による放射線影響について世界原子力協会(WNA)が制作した13分間のビデオを上映いたします。

以上